

下田歌子「下田歌子書簡」

明治19（1886）年12月

16日

度候。さて過日中御咄し

おはな

の国の姿、やふく一本

写させ候まゝ、御廻し

申上候。御熟読御考

へ被下度、猶著者の

くだされたく

なお

名及び行はれ方の

事に付ては、高崎正風様

御全快御面話のうへに

遊ばし戴き度、（以下略）

